

東日本旅客鉄道株式会社

代表取締役社長

富田 哲郎 様

要 望 書

平成26年3月4日

福島県南相馬市長

桜井 勝延

福島県南相馬市議会議長

平田 武

福島県南相馬市商工農政問題研究会長

西 一信

ＪＲ常磐線の早期運行再開について

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から間もなく３年を迎えようとしている現在、当市は、一刻も早く市民が安心して住み続けることのできる環境を取り戻すため、各種復興事業に全力で取り組んでいるところです。

小高区を中心とする避難指示区域内においては、平成２５年４月に小高区役所を再開したことを皮切りにその他の公共施設を順次再開し、平成２５年度内には道路、上下水道などの生活インフラを本格復旧するとともに、平成２６年４月には市立小高病院外来機能の一部を再開する予定であり、市民の帰還に向けた環境整備を着実に進めております。民間においても、平成２５年４月には小高郵便局が再開し、順次、４９事業所も再開し始めるなど、避難指示区域内の復興の兆しが徐々に見え始めてきたところです。

このような中、当市では、最重要課題である避難指示区域内の再生に向けて、避難を強いられている市民が前向きに生活再建の見通しを立てられるよう、平成２８年４月を避難指示解除準備区域及び居住制限区域の解除目標時期としました。さらに、市民が帰還の準備を進めながら帰還意欲を維持できるように、平成２６年８月から避難指示解除までの長期特例宿泊の実施について国と協議しているところです。

避難指示区域内の市民は高齢者をはじめとする交通弱者の方が多く、ふるさとに戻り安心して生活するためには、ＪＲ常磐線の運行再開が不可欠でありますので、当市の取り組みをご理解の上、是非とも復興へのご支援をお願いいたします。

つきましては、下記のとおり要望いたします。

記

１．ＪＲ常磐線原ノ町駅～小高駅間の早期運行再開について

ＪＲ常磐線については、復興の加速化及び住民の帰還に欠かすことのできない公共交通機関であることから、平成２６年８月までに原ノ町駅以南の小高駅まで運行を再開すること。